



大熱戦!! とろろめし大食い大会



CONTENTS

2~3	新幹線駅開業特集
4~11	町政座談会
12~13	まちのできごとあれこれ
14	産業文化健康まつり
15~17	行政のひろば
18~19	保健情報
20~21	いきいきひろば
22~27	お知らせ

えきかつプロジェクト実行委員会（田中清一委員長）は10月31日、屋内スポーツセンターで「とろろめし大食い大会」を開催しました。大会には町内外から男性24人、女性3人が参加。参加者はご飯150グラムの上にとろろ100グラムをかけた丼を制限時間15分間で何杯食べられるかを競いました。

スタート直後は、みな、勢いよくとろろめしを口へ運んでいましたが、時間が経つにつれて徐々にペースダウン。苦しい表情を浮かべながらも会場の声援に応じて食べ続けていました。

大会には東北新幹線の新型車両「はやぶさ」のかぶりものをした「はやぶさPR隊」も参加。ユニークなパフォーマンスで会場を盛り上げました。

優勝は男性の部は9杯を食べた市ノ渡義光さん、女性の部は5杯の坂井順子さんがそれぞれ優勝しました。賞品にみよこ米60キロを獲得した市ノ渡さんは「時間があれば、まだ食べられた」と余裕を見せていました。

東北新幹線全線開業まで

いよいよあと

3日

(12月1日基準)

●「七戸町観光交流センター」オープン



11月6日、「七戸町観光交流センター」が七戸十和田駅南口にオープン。同センターのオープンと七戸十和田駅開業1ヶ月前を記念し、11月6日と7日の2日間、オープニングイベントが開催されました。イベントでは上北・下北地域の物産販売や郷土芸能の発表、「りんご娘」のライブなどが行われ、多くの来場者で賑わいました。

今後、同センターでは七戸町や上北・下北地域の圏域市町村の観光情報や特産品をパンフレットや映像で紹介するほか、地域交流ホールでは各種物産展が開催される予定です。



●東北新幹線の試乗会を開催

11月3日・5日・20日の3日間、七戸十和田駅発着の東北新幹線特別招待者試乗会が開催されました。七戸十和田駅を出発した新幹線は、振動がほとんどなく、とても快適な乗り心地。八甲田トンネルを抜けると、あっといいう間に新青森駅へ到着しました。この間約15分。到着後は、新青森駅の改札内を30分ほど見学し、帰路につきました。

試乗会に参加した方は「あっといいう間だった。開業後は七戸十和田駅から新幹線に乗って旅行したい」と話し、開業を楽しみにしていました。



●「七戸十和田駅前のシンボルに」時計塔寄贈

七戸十和田駅の南駅前広場にモニュメント時計塔が建立され、11月11日、同広場で関係者約40人が出席し、テープカットが行われました。

この時計塔は七戸ロータリークラブの創立45周年記念事業の一環として、同クラブと青森銀行七戸支店青友会、みちのく銀行七戸支店グリーンクラブの協賛により設置。高さ6メートルで、どの方向からも時刻が確認できるように、時計が取り付けられています。

記念事業実行委員会の大黒博委員長は、「この時計塔が駅のシンボルとして、未永く親しまれていくことを願います」とあいさつ。



小又町長は「南口のメインのロータリーに素晴らしいものを設置していただいた。時計塔が地域活性化のシンボルとなるように祈念します」とお礼を述べました。

県外でも開業PR活動を展開！！

●七戸十和田駅応援隊結成！

七戸町雇用創造協議会が呼びかけを行い結成したものです。

十和田駅を宣伝し、開業にむけて、首都圏で開業されるPRイベントへの参加を呼びかけていただき、首都圏での知名度アップの中核となつていただくために、七戸町雇用創造協議会が呼びかけを行い結成したものです。

10月22日、七戸町出身の鳥谷部拓彰さんが経営する東京・日本橋小舟町のイタリアン・レストラン「ラ・フェニーチエ」で「七戸十和田駅応援隊」の設立総会が行われました。

「七戸十和田駅応援隊」は、七戸及び近隣市町村出身で首都圏にて活躍の方々に七戸十和田駅を宣伝し、開業にむけて、首都圏で開業されるPRイベントへの参加を呼びかけていただき、首都圏での知名度アップの中核となつていただくために、七戸町雇用創造協議会では、隊員の皆様に会報紙を発行し、地元の最新情報や人気スポットなどの情報提供を行つて参ります。



●とことん青森MAX in 原宿表参道

夜には、青森ねぶたが原宿・表参道を練り歩き、ハネト、囃子、太鼓が一体となり原宿を青森一色に染めました。沿道は運行前から見物客で混雑し、熱気であふれ、会場の様子をカメラに納めるシーンが多く見られました。

11月1日、「とことん青森MAX in 原宿表参道」が開催され、みよこレディーの豊川美幸さんと小林明莉さん、七戸町商工会青年部の七戸はやぶさPR隊が参加。明治神宮文化館前のお祭りステージなどで、当町のPR活動を行いました。



平成22年度 町政座談会が開催されました

「平成22年度町政座談会」が10月18日～28日まで、町内8会場で開催されました。各会場では小又町長が町政全般にわたる重要施策を述べた後、参加した町民の皆さんと意見交換を行いました。

なお、掲載につきましては要点のみとしております。（Qは質問・要望、Aは回答）

Q & A

〔倉岡 生活改善センター〕 参加者7名

Q 奥羽牧場防風林の伐採について町長と一緒に要望に行っただが、今後の町としての対応と展開は？

町長 A 枝払い程度にしか作業されていないが、要望に行っただとき伐採してもらえとの認識であったので確認する。

Q 農道沿く倉岡線の十字路の安全標識が色あせて見えない。カーブミラーの設置も合わせて要望している。

A 現状を確認の上、予算の範囲内で対応したい。カーブミラーは設置する予定。

Q 「治部袋入口」の看板設置をしてほしい。

A 現地確認の上、対応する。

Q 倉岡幹線36南2に街路灯の設置を要望する。

A 街路灯の設置要望箇所が40箇所ほどあるので今後順次対応したい。



Q 生活道路舗装を長年要望しているが進捗状況は？

町長 A 新幹線事業が終了するので、今後対応していきたい。

A 順次調査して進めているが、私道に関しては難しい。町道については対応していきたい。

Q 倉岡生活改善センターの外灯がつかない。

A 要望を受けて業者見積などをとって把握しているが、町内の集会施設の維持補修工事費がかさんでいる。屋根、外壁などの痛みの激しい所から対応している。もう少ししばらくお待ちいただきたい。

Q 倉岡生活改善センターのトイレの床が落ちそうだ。

A 調査して対応する。

Q さとうクリニックがお産を中止して診察しかなかったと聞いた。青森が八戸まで出産にいかなければならぬ。安心して出産できるように役場で働きかけてもらいたい。

A さとうクリニックに働きかけをしたが難しい。産科医がいないので苦慮している。県や関係機関と相談しながら努力したい。

Q 地デジのアンテナやブースターなど相当なものを付けなければ見られない地域がある。個人負担をしなくてはならないのか？

A 総務省で難視地区など調査把握している。デジサポ青森で相談を受けている。ご意見はデジサポ青森へ連絡する。

Q 牧場から銀南木集落までの道路に街路灯がなく、自転車通学の生徒など危ない。

A 現地確認の上、対応する。農作物の特別栽培の推進に

ついて具体的に説明して欲しい。

A 県の冬の農業など耐雪型ハウスへの4分の1補助をJAでPRしている。高温殺菌した堆肥（土作くん）を県と町で補助している。またJA十和田おいらせにスチールコンテナを町で補助して導入する。他にニンニクの優良種子の確保、トマト用のハウスなどへの支援がある。

Q 河川に隣接した農地が大雨で崩れている。農林課と建設課へ相談しているがその後の対応は？

A 確認して県へ対応を要望する。

Q 集落上流の防火用水路が除雪の雪で埋まり水が滞る。フタを付けて除雪してもらいたい。

A 現地確認の上、対応する。

※『デジサポ青森』とは？
総務省テレビ受信者支援センター（デジサポ）は地デジについてきめ細やかな相談対応を行うための組織。
地デジに関するお問い合わせはデジサポ青森 ☎0171-77111010まで

【柏葉館】 参加者24名

Q 七戸十和田駅へのJR職員

の配置人数は？何名が七戸町に居住するの？

A はっきりした人数は不明。官舎の建設予定もないと聞いて

いる。JRに確認する。
Q 山車展示館に優秀賞の山車を展示すると聞いたが？また八戸の職人が製作した山車を展示するのはなぜか？

A 山車展示館には観光協会、町内会と協議の上、山車の展示を考えている。常設展示の山車に町内の山車を借りると作り替えなどで展示できない期間があるので製作する。製作者は八戸の方が七戸町にちなんだ題材の山車を依頼している。

Q 秋祭りの期間中、大きい釜を町の施設から借りられるか？

A 借りたい町内会が殺到すると貸出が難しい。町内で対応して欲しい。

Q 人形の館の奈里多さんにもいるのに常設山車の作成を八戸の職人に依頼するのは納得がいかない。

A すでに常設山車の製作に入っている。奈里多さんへはミニ山車などの製作依頼について検討する。

Q 広報に二酸化炭素削減、温暖化についての記事が掲載されているが、町としてその効果について言い切れるのか？

A 国の指導により対応しており、町では月1回自動車通勤の自粛や夏期のクールビズ、冬期間は暖房温度を下げる等、二酸化炭素の削減を図っている。

Q 広報7月号で連合婦人会から町長へ花束のプレゼントと記

事があるが、町から補助金が出ている団体ならばもっと有効な使い方をするか、町が辞退すべきでないか？

A 町から補助金が40万円出ているが会員の会費とあわせて70万円で運営している。検討したい。

Q 通学路などに生け垣が大きくなるか？所有者へ指導を行うべきでないか？

町長A パトロールを行う。

A パトロールなど行っているが、職員のみでは把握は困難な状況。住民の方から連絡もいた

ただきながら管理など所有者にご協力いただきたい。

Q 歩道の除雪の手順が悪い。昨年は除雪車が生

け垣など壊している。運転手の技量に欠けるのではないか？また工事で融雪の水が留められて困った。工事の時期を考えて欲しい。

A 歩道の除雪は気を付けるよう運転手に作業の指導をする。融雪の水は申し訳なかった。今年は

問題ない。
Q 川向の道路が3路線しかないため、朝はとも混雑する。国道4号線からまっすぐ入る道路ができないか？

町長A 現地調査で新設か拡幅かの判断となる。今後の道路整備計画の際に検討したい。

Q 除雪業者によって除雪に上手い下手がある。

A 業者への指導を徹底したい。

Q ゴミ袋に氏名を書かなくても収集する場合がある。書かないと収集しないように徹底して欲しい。

A 中部上北清掃センターより氏名を書くように指導を受けている。氏名を書かないと札（収集しない理由）を張って収集しない。再度、広報等で周知する。

Q 駅前が賑やかになっても町中が賑やかじゃないと意味がない。

町長A 町中を巡るツアーを組んだり観光客を迎える企画を行っている。商店街でもしちのへ若駒商人隊や疾風組など若い人も勉強して頑張っている。

Q 七彩館は冬場に野菜など無い時はどうするのか？

町長A 冬場はナガイモなど保存のきく野菜が中心となる。産地間の連携として千葉などの産地との連携を研究している。冬の野菜栽培の振興策もとってきたい。

Q 高齢化で町の医療費負担が上がっている。体育館のトレーニング器具など故障のままだったり、町として長期計画として高齢者の体力づくりや健康維持についてどう考えているのか？

町長A 故障している器具は修理する。高齢者の予防医療は大事だ。現在いくつかの地区に保健師が直接出向いて健康相談などの活動をしている。スポーツや趣味など健康維持のための対策に取り組んでいきたい。先進地を参考に検討する。

Q 七戸川の中州に柳が生えている。撤去して欲しい。

A 県の管理となるので、県へ要望する。

Q 文化ガイドの会員が高齢化している。育成・補充をして欲しい。

A ガイドの会と連携し、町内の方を巻き込んで勉強しやすい方法など検討したい。

Q 歩道の除雪は気を付けるよう運転手に作業の指導をする。融雪の水は申し訳なかった。今年は



Q 牛舎を新築して税務課が固定資産税の査定をしたら、実際と大幅な開きがあった。査定根拠を聞きたい。

A 固定資産税の算定基準に沿って査定している。従って実際にかかった経費よりも上回る場合がある。

Q 八幡橋に歩道橋を架けるよう、町から県へ要望して欲しい。

町長A 国道394号整備促進規制同盟会で要望する。

Q 夏まつりのシャトルバスで七戸方面発のバスに乗客が少ない。宣伝して欲しい。

A 七戸方面のシャトルバスの乗客が少ないのは把握しているが車で来られない人のためなので無くすることはできない。小さいバスにするなど検討したい。

Q 夏まつりの抽選券を広報にも付けて欲しい。

A 検討する。

Q 広報への職員の顔写真掲載、町政座談会の出席者の公表がされてとても良いことだ。10月号の決算報告の表記が見づらい。

A 改善する。

Q 地デジの映りが悪い。鉄塔など建てる予定は？

A 地上デジタル放送難視地区は川原町と治部袋地区の一部世帯と把握している。川原町ではNHKと民放で出資して鉄塔を建てて改善することになっている。デジサポ青森では治部袋地区との話し合いで完全移行に間に合わせて対応する。

Q 地デジが市街地では電波状況が悪くて見られない。中継塔の規模と対象は？

A 難視地区以外での個別の電波障害などはデジサポ青森に相談してほしい。

Q 七戸あいさつ推進運動の登録メリットは？登録者は何人か？

A 登録人数は把握していない。登録者には腕章を配布しているが活動などの方法を検討する。

Q 町の財政が厳しいというが、再生紙を使ったり封筒の再利用など、みんなで気を付けたら財政も良くなるのではないかと？

町長A 現在そのような対応は実施しているがさらに改善すべき点はしなければならぬ。

〔野々上
福祉交流センター〕
参加者4名

Q 町道に砕石を敷いてほしい。

A 現地確認の上、対応する。

Q 野々上福祉交流センターの備品に座布団とテーブルが欲しい。

A 町内の各施設の補修を行っている最中である。要望を取りまとめて検討したい。

Q 施設に短期入所すると高額な料金がかかる。扶養者の有無によって利用料金が違ってくと聞いたことがあるが？

A 短期入所サービスは自己負担額（1割相当額）のほかに食費等が必要となる。その費用は世帯の課税状況で異なるため個人差が生じる。扶養の有無は利用料にに影響しない。

Q 駒踊り伝承館の施設内や周辺管理を集落でやっているが将来的に管理ができなくなったらどうするのか？

A 地元の方々にご協力いただきながら管理している。地域での管理が難しくなったら相談の



ただきたい。

Q 申告の時、認定農業者の家族認定分の申告は口頭でいいか、領収書など必要か？

A 添付資料として領収書が必要。

Q 町財政が厳しいと給料カットや職員減などしているが何が原因か？給料カットは職員のやる気に繋がらないのではないかと？

町長A 国からの交付税が減り、これまでの事業の借金の積み重ねが負担になっている。国の政策の影響を受けたりするので思うようにいかない。職員の給料カットはもうしていないが、手

当などの一部については未対応がある。財政的には安定しているが先が不透明な部分も多いので、今後も慎重に運営する必要がある。

Q さとうクリニックでお産を扱わないと聞き困っている。近隣町村と組んで対策できないか？

町長A さとうクリニックの先生に働きかけたが11月から産科は中止となる。七戸病院の院長や県と相談しているが産科医がいらない。県や関係機関と相談しながら努力したい。

Q 町村合併して5年経つのに商工会が合併していないが一緒になるべきでないか？

町長A 事業などするためにはまとまった方が力があると思うので合併した方がいいと思う。

Q 減反された土地が遊休牧草地ばかりあるように見えるが？

A 今年から作付けした農作物を出荷しないと転作奨励金が支払われない。遊休地の所有者にはロータリーなどかけて近辺に迷惑をかけないように指導している。農業委員会では耕作放棄地対策解消事業に補助金を出している。

【中央公民館】

参加者15名



Q 七戸十和田駅の開業日の上り下り電車の歓迎方法は？町民が参加できるような広報をするのか？

A 上り電車の出発式はJR主催で開催。盛岡、仙台、東京発の一番電車の歓迎セレモニーと一番バスの出発式を行う。その後開業記念式典を行い、県で竣工祝賀会をホテル青森で行う。町民への周知は県、JRと調整して周知する予定。

Q 駅周辺の土地の景観が悪いがどうかならないか？

A イオンの開業が12月に間に合わず、来年4月開業目標となっている。景観整備のお願いをする。

Q 大型店が出店したら町中は閑散としないか？町での整備計画は？

町長A JRと共同企画で観光タクシーを運行予定。十和田市、三沢市と組んだツアーほか徒歩でのコースも企画している。田舎体験や町のイベントと合わせた商品化を検討している。疾風組など民間の青年部でパンフレットを作成しているが町でもパンフレット、ポスターを作成する。

Q 企業誘致計画はあるか？長期総合計画の達成率、プロジェクトチーム構想はどうなっているか？

A 来年度からの下水道計画などの事業の見直しは行うか？また計画の住民への広報は？

A 緊急雇用対策で平成21年度から23年度の計画で雇用を確保している。

長期総合計画の具体的な計画を過疎計画で定めている。国からの財政支援で道路維持補修など行ってきた。過疎法が改定され現在各課からの提案要望を取りまとめ中。今後新幹線の起債償還が始まるので、財政運営に注意が必要となる。学校耐震や橋など町の施設の長寿命化など必要。行財政改革の兼ね合いも考えながらすすめる。

Q 下水道への接続費で合併浄化槽を設置するときの個人負担でまかなえるのか？

A 7人槽の合併浄化槽で事業費は平均約120万円くらい。うち、32万8千円の補助があり、個人負担は約90万円くらいになる。

Q 電源立地交付金が見直されると聞いたが、原燃のリスクが高いのに町にメリットが無い。

町長A 国の特別会計で見直し対象に上がった。今後のことは不明だが、大切な財源となっている。

Q 新卒採用の透明性を高めるために試験の回答をホームページに掲載や、面接の公開などの選考方法はとれないか？試験の小論文を公文書として開示請求

できないか？

A 一次試験は終了している。点数など本人から問い合わせがあればお知らせするがホームページへの掲載はしない。二次試験は面接・小論文で行う。プライバシーの問題があるので従来どおりの方法とする。試験では適性をみたりもするので点数ばかりで決まらない。氏名等隠して公開しても内容から本人が特定される可能性もあるので開示しない。

Q 町の課長に不適切な発言があった。

町長A 申し訳ない。今後そのようなことのないよう指導していく。

Q 浄化槽の助成金は今年で終了か？

町長A 5ヶ年計画が一旦終了となる。国の助成額が未定だが町として助成する。

Q 役場の課の横の連携を考えると欲しい。

町長A 役場全体として横の連携を強めていきたい。

Q JAの低温倉庫建設時出資しているが出荷奨励金で戻る金額がわずかだ。法人監査など受

けてクリアにして欲しい。

町長A 監査を行っているとと思う。総代会などで開示請求してみたらどうか。

Q 独居老人が増えてきているが長期総合計画のシルバーハウジングのような世話付き住宅を町で提案して欲しい。

町長A 以前行った意識調査で自宅が良いとする人が多数であった。中心街の活性化と合わせて老夫婦など対象に検討したい。

Q 町の財政が厳しいならPFIを活用しての事業が出来ないか？

町長A 公営住宅建設時にPFI活用を検討したが補助金を受けて建設した方が安いとの試算が出た。今後、活用することがあればPFIも検討する。

※『PFI』とは？
公共サービスの提供に際して公共施設が必要な場合に、従来のように公共が直接施設を整備せずに民間資金を利用して民間に施設整備と公共サービスの提供をゆだねる手法。

【町地区集会所】

参加者12名

- Q 道ノ上・市ノ渡線からスクールバス停まで歩道を設置して欲しい。
- Q 中野く市ノ渡線の鳥谷集落の林道から雪解け水が道路に流れ出している。側溝のフタをグレーチングに替えて欲しい。
- Q 町地区集会所から兎内さん宅の間に街路灯を設置して欲しい。



文のテーマは試験前日、点数配分は二次試験の直前の週に決定したい。本人には点数配分は知らせない。また点数配分は開示請求できない部分にかかるとも知れないので検討の上、後日回答する。

Q 川なのか水路なのか草が生えて境界がわからない。川の側の木はどこまで伐採して良いか？

A 県土木では個人で伐採して処理してもいいとの回答。用地については境界がわからないので個人で対応してもらいたい。

Q 盛田稔記念図書館の計画は？

町内の古文書・古美術などの収集、公開など行う予定は？

町長A 盛田稔氏より寄附された図書は現在整理中で整理が終わった部分から七戸庁舎4階で公開していくよう準備中。また甲冑展を町民有志で開催する。

Q 古美術品などの収集予定はない。

町長A 毎戸配布がA4以外のサイズだと配布に困る。B4などは二つ折りにして欲しい。

町長A 要望のとおりにする。

Q 防災無線のデジタル化はどこまですすんでいるか？戸別受信機となるか？

町長A 電波法改正により平成28年にデジタルへ移行する。デジタル化には10億円かかるので国の補助などを探している。デジタル化の際は全戸別受信機を検討している。

Q メールで防災情報を流した方が確実でないか？

町長A 検討する。

A 景観が良くない。

A イオンに対応を要請している。ため池は側溝を入れるまで一時的にためているもので側溝が繋がれば埋められる。

Q 職員採用試験の二次試験の小論文・面接の点数配分、小論文のテーマが決まっているか？

A 何名応募で何名採用か？点数配分を受験者に知らせるか？また町に点数配分の書類の開示請求ができるか？

A 二次試験の点数配分はまだ決まっていない。一次試験は45名応募、うち3名棄権。5名前後を採用予定。二次試験の小論文のテーマは試験前日、点数配分は二次試験の直前の週に決定したい。本人には点数配分は知らせない。また点数配分は開示請求できない部分にかかるとも知れないので検討の上、後日回答する。

Q 米の余剰、生産、消費などのデータが国から通達があるか？米生産の基礎データを町が把握しているか？

町長A 通達はないと思う。個人の米消費量が減っており国の政策で振り回される。

Q 盛田稔記念図書館の計画は？

町内の古文書・古美術などの収集、公開など行う予定は？

町長A 盛田稔氏より寄附された図書は現在整理中で整理が終わった部分から七戸庁舎4階で公開していくよう準備中。また甲冑展を町民有志で開催する。

Q 川なのか水路なのか草が生えて境界がわからない。川の側の木はどこまで伐採して良いか？

A 県土木では個人で伐採して処理してもいいとの回答。用地については境界がわからないので個人で対応してもらいたい。

Q 古美術品などの収集予定はない。

町長A 毎戸配布がA4以外のサイズだと配布に困る。B4などは二つ折りにして欲しい。

町長A 要望のとおりにする。

Q 防災無線のデジタル化はどこまですすんでいるか？戸別受信機となるか？

町長A 電波法改正により平成28年にデジタルへ移行する。デジタル化には10億円かかるので国の補助などを探している。デジタル化の際は全戸別受信機を検討している。

Q メールで防災情報を流した方が確実でないか？

町長A 検討する。



【四ヶ村集会所】

参加者8名

- するか、凹凸の標識を立てて欲しい。
- Q** 現場を確認の上、対応する。農道と国道394号との交差点にカーブミラーを設置して欲しい。
- A** 冬前に設置する予定。
- Q** 長沢のスクールバス停付近のカーブミラーの設置はどうなっているか？
- A** 冬前に設置する予定。
- Q** スパーふくだの前のカーブミラーをダブルにして欲しい。
- A** 来年度の設置要望箇所となる。
- Q** 四ヶ村集会所グラウンドにバックネットを整備して欲しい。
- A** 立ち会いの上、設置箇所を確認したい。
- Q** 朝、スクールバスを待つ児童が消防屯所のトイレを使用している。指導して欲しい。
- A** 校長A 校長会で報告して指導したい。
- Q** 長沢く膝森へ道路を通せば便利になる、消火栓の設置も出来るのでないか？
- A** 農道整備を考えている。かなりの費用がかかるので補助事業で対応したい。
- Q** 合併後、集落の管を繋いで環に整備する計画があり、その一つに長沢く膝森線がある。現在の具体的な予定はまだない。道路を造るべきか歩道を使って管を通すか検討が必要。消火栓設置となると膝森の管が合わなため相当の入れ替えが必要となる。
- Q** 町内の各箇所の給水管を早く繋がないと八戸の漏水のような事故が起これば水が回らなくなる。
- A** 町長A 地震などの有事の際、断水がおこるかもしれない。道路と合わせて検討する。
- Q** 川口さん宅へ通じる道路に碎石を敷いてほしい。
- A** 対応する。
- Q** 野崎のため池が埋まっているが掘った方がいいのでないか？水門が機能しておらず、県で手を付けないと聞いた。
- A** 町長A 水門の現状は把握している。検討して対応する。
- Q** 四ヶ村集会所く花松神社へのT字路が冬、アイスバーンになる。ガードレールを付けて欲しい。
- A** ガードレール等を設置する。
- Q** 太田嶋の用排水路対策を補助金でやると言っていたが東北町側が崩落しているので早急にやって欲しい。
- A** 町長A 事業主体が土地改良区。東北町と負担割合を協議してやっていきたい。野崎の排水路に区切りをつけてからやりたいと思う。
- Q** 七戸病院が赤字で大変だが改革などしているのか？
- A** 赤字解消に向けて合理化、改革をすすめており赤字幅が大きく減ってきている。今年度は医療関係専門の外部団体に病院経営診断を委託して赤字原因の分析をしている。意識を持つて
- Q** 取り組んでいる。
- Q** 七戸高校八甲校舎が廃校したら十鉄バスの路線が廃止になると聞いたが？
- A** 十鉄バスから路線廃止の話は聞いていない。突然の廃止は無いと思うが、機会ある事に継続を要望する。
- Q** 八甲校舎が廃校後、施設の活用については？
- A** 新年度から県での活用が決まっている。
- Q** 高校の教員住宅を町へ払い下げしないか？
- A** 県で活用する予定。
- Q** 天間東小学校、榎林中学校の生徒数が減っているが合併についてはどうなっているか？
- A** 統廃合については特に何も検討していないが、今後検討の必要もあると思う。
- Q** 三沢駅旅行センターが七戸十和田駅に入ると聞いたが？
- A** 三沢駅の旅行センター機能が、七戸十和田駅に入り、切符の手配等ができるという。
- Q** 旧富田商店倉庫の道路が危険だ。整備するため町から集落へ働きかけなどしないか？
- A** 20名の共有地となっており、町から所有者への働きかけの予定はしていない。
- Q** 集会所の管理費が5万円足りませんが他の集会所の管理に持ち出しなどしていないのか？
- A** 各集会所5万円で管理をお願いしている。除雪、周辺草取りなどボランティアで対応してもらっている。管理費について負担が過大なようであれば検討が必要と思う。
- Q** 防災無線で放送する内容で緊急以外のものをホームページに掲載して欲しい。
- A** 件数が多いので検討させてほしい。
- Q** 45号バイパスが完成まで9年かかると聞いたが？
- A** 町長A 国の予算160億円がついた。第1工区が始まったばかり。農免の十字路へ向かう道路の舗装がごぼごぼだ。滑らかに



Q 東京への上り一番列車がなぜ七戸十和田駅に止まらないのか？

A JRに全便停車の要望をしたが、始発列車は停車しないことになった。最終便は停車する。

Q これまで新幹線施策が優先だったが来年は農業施策に力を入れて欲しい。

町長A 農業振興や生活路線整備などいろいろ検討している。

Q 経常収支比率は何%か？

A 20年度は99%。行財政改革を行い、21年度は94%まで下がった。交付税や税収の減など厳しい状況にあるが健全財政運営のためにも今後も改革をしていかなければならない。

Q 青少年海外派遣事業に80万円かけているが、韓国へは3人しか行かないと聞いたが？

A 旧七戸はカナダへ派遣しており、参加者の減少と引率者の負担が大きいとのことで国内研修へと変えている。韓国は募集に3名の申込しかなかった。

町長A 次年度継続について検討する。

【ニツ森地区

「ミニコミュニティセンター」
参加者21名

Q 要望していたカーブミラーの設置はどうなったか？

A 要望のあった4箇所のうち2箇所は個人の出入り口で、1箇所は緩やかなカーブのためミラー設置の効果は少ないと思われる。T字路へは冬前に設置する。追加の2箇所は来年度の要望箇所とする。

Q 農免道路の法面の木を伐採して欲しい。

A 新年度予算で対応する。

Q 除雪時、新農免道路を除雪して欲しい。

A 現地確認の上、対応する。

Q 街路灯の柱が腐っているのを取り替えて欲しい。

A 確認の上、対応する。

Q 職員が約束していたのに来なかった。来られないときは連絡して欲しい。職員の服装の乱れがある

A 申し訳ない。今後そのようなことがないように注意指導する。



Q 同じ所有者の耕作放棄地できれいな所と荒れた所がある。土地改良区で行っているのか？

A 耕作放棄地を借りて作付けを希望する人があれば再生費用に対して協議会で補助金を出している。役場で探したりしていない。

Q 除雪車がL型を押し雪を削っている。気を付けて欲しい。

A 業者、役場運転手に指導する。目印を立てたりして注意する。

Q 来年度から転作の貸し借りを契約しないと転作奨励金がもらえないのか？

A 来年度からは、農地に貸し借りに係る転作配分は農業委員会に届けた後の面積による転作配分となる。個人のやりとりで後々のトラブルを防ぐためのもの。農業委員会へ届け出てやってもらいたい。

Q 側溝から排水が山に流れ込んでいます。U字溝を入れてくれるよう要望している。

A 新年度予算で対応する。

町長A 改善する。

Q 県警の名を語った詐欺事件が起こっているが、防災無線の放送だけでなく回覧なども回して欲しい。

A 警察へ連絡し、チラシを作成して対応するよう要望する。

Q 無線が早口だ。ゆっくり話して欲しい。

A 申し訳ない。今後気を付ける。

Q 八甲田校舎の閉校後の活用は？

A 閉校後の校舎は県の財産として県で活用を予定している。

Q ニツ森貝塚史跡公園に来たお客さんに案内する出土品などの展示物がない。

A ニツ森貝塚出土品は七戸町

文化交流センターに保管している。ニツ森貝塚の活用方法は現在、検討委員会で検討している。

Q ゴミが不法投棄されている。禁止の立て看板が欲しい。

A お渡しするので、社会生活課へ連絡して欲しい。

Q 東北町から中部ゴミ処理場へ向かうトラックの荷台からゴミが落ちて拾わずに立ち去っている。注意して欲しい。

A 現状を把握している。東北町の担当課へ伝える。

Q 農地貸借でトラブルがあったら相談はどこにしたらいいのか？

A 農業委員会に来ていただければ和解の仲介について相談を受けている。

Q 農地・水・環境保全の事業は5年計画だが、経過したら終了か？継続して欲しい。

町長A 良い効果が出ているので継続の要望をしていく。

A 国政によって縮小などがあるかもしれないが、継続の要望をしていかなければならないと思う。



【坪地区】
農産物加工等施設
参加者13名

ちゃんと教えて欲しい。

A 申し訳ない。ご迷惑をおかけした。事前に使用日など連絡をいただければ助かる。

町長A あるまじきことである。職員に注意する。

Q 新幹線駅が開業してバス、タクシーなど直接観光客と触れ合う人が不親切だと印象が悪い。対策は？

A おもてなし講座など開催して機会あるごとに町民の方々におもてなしの声掛けをしていく。

Q 坪地区農産物加工等施設の乾燥機械の使用法を聞くため役場に連絡したがわかる人がいないと言われ、使用できなかった。

A 坪加工施設の設備を再点検し、お知らせする。

Q 防災無線で火事を伝えるとき『やまかじ』など簡単に言うて欲しい。

A 消防署に報告して相談する。

Q 坪の未舗装の道路を舗装して欲しい。

A 現地確認の上、検討する。

Q 千鳥住宅前の排水路を道路と同じ高さにしてフタをできないか？

A 土地改良区の管理になる。ガードレールの要望があり、現在ロープを張って検討している。道路よりだいたい下の排水路なので高さを上げるのは難しい。

Q 原子から蒼前の十字路が防雪柵で見通しが悪い。柵を外すか、信号の柱を下げて欲しい。

A 防雪柵は国土交通省の管理になる。信号の件は警察に相談する。

Q 茶色のガードパイプで見通しが悪い。外せないか？

A 歩行者安全のために設置されているので外すことはできない。気を付けて横断して欲しい。

Q お産する場所がないが？

町長A さとうクリニックにかけあったが医師も倒れる寸前に要望しているが産科医がいないので大変苦しい。今後とも県や関係機関と相談しながら努力する。

Q 国道の歩道除雪が子供の通学時間より遅いので間に合わせて欲しい。

A 国土交通省に要望する。

Q 七戸城跡のガイドがあるか？

教育長A ガイドの会があり無料で対応する。窓口が商工観光課なので要請して欲しい。

Q 天間館中学校の側の押しボタン式信号機を一人ずつ横断するから車が滞っている。マナーとして指導して欲しい。

教育長A 校長会で報告して指導をお願いする。

Q ニンニク農家の助成とは何か？

A J A、生産組合等の要望に基づいて補助事業を実施している。今年度はニンニクうね立て同時消毒機械を李沢地区に導入。優良種子対策、イモグサレせん虫対策。また殺菌処理した堆肥（土作くん）購入助成事業など。

Q 旧富田商店倉庫の跡地の所有はどこか？町で整備して花などを植えてはどうか？

A 登記上は20名の共有地となっており、町の所有地ではありません。

Q 道路側溝が埋まっているのを土をあげて欲しい。

A 現地確認の上、対応する。

Q 街路灯の新設を要望する。

A 今年度、道路改良を実施することになっており、改良後に現地確認し対応したい。

Q 作田川目生活改善センター前を舗装して欲しい。

A 作田川右岸堤防の石敷きについて、県管理の河川であり県単独事業要望に要望するのでご理解いたいただきたい。

Q 農道に碎石を敷いてほしい。

A 農道への碎石については、受益農家2戸以上の申請を受け、農道用の碎石の現物支給を実施している（受益農家等で運搬）。なお農道の状況により事前にグレーダーでの整地作業も行っているが、建設課重機等での作業となるので、日程調整を要する場合がある。

【事前質問事項と回答】

役場への要望・問い合わせ等は随時受付けております。

担当課がわからない場合は
総務課（☎68-2111）へご連絡ください。



まちのできごと あれこれ



七戸町建設業協会が ボランティアで駅周辺の道路を清掃！

七戸町建設業協会（南亮一会長）は11月4日、会員20が参加し、七戸十和田駅に近い町道脇の雑木を伐採するなどの道路清掃活動を行いました。

この環境美化活動は平成19年より実施され、今年で4回目を迎えました。

当日は好天にも恵まれ、参加した会員らは道路脇斜面の雑木を切り倒し、道路にはみ出した雑草を刈った後、トラック2台への積込作業を行いました。

同協会では、「新幹線開業を目前に控え、今年は駅周辺の清掃をしました。今後も地域社会への貢献のため、継続して活動を続けていきたい。」と話していました。

かだれリンゴ収穫体験で秋の彩りを体感

かだれ田舎体験協議会（中野正章会長）は10月23日、中村進さんのりんご畑で「りんご収穫体験」を実施。町内外から約30人が参加しました。今回の体験には、三沢基地から12人の親子連れも参加。参加者はりんごがたっぷり入ったカレーを調理し、中村さん手づくりのりんごジュースとアップルパイと一緒に味わいました。その後、りんごの収穫体験や、ハロウィンかぼちゃを制作し、秋の彩りを体感。おみやげに大きなかぼちゃをかかえ、笑顔で帰りました。



七戸町で 地域づくり団体全国交流会分科会を開催

第28回地域づくり団体全国交流会青森大会の分科会が11月12日、13日の2日間、七戸町で開催され、遠くは熊本県、愛媛県をはじめ全国から地域づくり活動に一生懸命取り組んでいる16名の参加者をお迎えしました。

分科会では、『“願いかなう絵馬の町七戸”で新

しい発見！～中世の城下町で歴史の見学とおいしいもの体験を！』をテーマに、絵馬作りやハッピーファームで馬車乗車体験など、馬にちなんだ体験をしていただきました。また、りんごの収穫や古民家「山勇」と「かだれ天間林」で研修交流会を行い、七戸町の自然や文化とのふれあいを満喫していただきました。

分科会を主催した七戸町まちづくりの会を中心に、文化ガイドの会、かだれ田舎体験協議会、わの会、郷土料理あじの会、天間林史跡勉強会、商工青年部、

若駒商人隊、疾風組のほか、スタッフが力を合わせておもてなしすることができ、分科会に参加された方々は大変満足され、笑顔でお帰りになりました。



不法投棄物の撤去作業を実施

11月10日から2日間、石沢地区で不法投棄廃棄物の撤去作業を実施しました。今回の撤去作業は、あおり循環型社会推進協議会が各地で繰り返される不法投棄の撲滅を目的に実施している「不法投棄防止撤去推進キャンペーン」の補助を受け、青森県、産業廃棄物協会上十三支部、地元町民、役場職員の参加のもとに撤去作業を行い、約121tの廃棄物を撤去しました。原因者が不明な悪質な不法投棄により、本来の環境と景観を損なっていたこの場所は、長年廃棄されつづけたゴミが排除され、美しい姿を取り戻すことができました。撤去作業に参加した人は「ゴミをこんな所に捨てるなんて信じられない」「将来の子供たちのためにも絶対に不法投棄はやめてほしい」と話していました。

今回撤去されたゴミは、適正に排出されるとリサイクルできた物もありましたが、残念ながら全て最終処分場へ埋め立てられることとなりました。リサ



イクルが叫ばれている今、一人ひとりがきちんと考えてゴミを出さなければ、リサイクル技術がいくら進歩してもゴミの削減には繋がりません。

ゴミが適正に処理されることは、住みやすい住環境がもたらされるばかりではなく、地球温暖化の防止にも結び付きますので、ポイ捨てや不法投棄は絶対に止めましょう。

七戸中学校野球部が 東北大会で優勝

七戸中学校（小川和俊校長）野球部は、10月16日から宮城県白石市で開催された白石市長杯第9回



（財）青森県学校給食会が七戸町産のアピオスと金子ファームの牛肉を使用した「アピオス牛肉コロッケ」を開発。中部上北学校給食センターのメニューに採用され、11月16日、管内の小中学校と幼稚園で提供されました。

アピオスは、ジャガイモと比べて鉄分が4倍、カルシウムが30倍と栄養分が豊富。このコロッケにはアピオスが皮ごと練り込まれています。はじめて食べるアピオスコロッケは「おいしい」と大好評。

12月の給食にも再登場するほか、今後は定番メニューとなる予定です。

中学生軟式野球大会秋季白石大会に青森県代表として出場。みごと優勝に輝き、東北6県の代表16校の頂点に立ちました。

七戸中は準決勝まですべての試合を1点差で勝ち上がり、宮城県代表の登米市立中田中との決勝では最終回に仁和大成主将（2年）が2点適時打を放ち、3対2でサヨナラ勝ちしました。

10月27日には小川校長のほか仁和主将と、決勝で勝利投手となった中山諒太君（2年）らが役場を訪れ、小又町長に喜びを報告。

仁和主将は「打った瞬間、センターに捕られる思ったが、意外と打球が伸びてくれて良かった」と話し、小又町長は「これからは目標とされる立場となる。プレッシャーがかかるけれども、乗り越えて頑張ってください」と激励しました。

また、平成23年4月には宮城県知事杯への出場が決定しており、今後の活躍が期待されています。

学校給食に新メニュー 「アピオス牛肉コロッケ」が登場！！



第6回 七戸町産業文化健康まつり



10月30日、31日の2日間、「第6回七戸町産業文化健康まつり」が開催され、家族連れなど多くの来場者で賑わいました。主会場となった屋内スポーツセンターでは、商工まつりや農林畜産まつり、舞踊愛好会などによる舞台部門など多彩な催し物が行われました。また、文化まつり展示会場となった七戸体育館には、保育園児や小中学生、文化団体などの作品が展示され、来場者を楽しませていました。そのほか、ふれあいセンターでは健康まつりが開催され、血液サラサラ検査などの体験コーナーが設けられ、体験者は自分の健康状態についての関心を高めていました。



農林畜産物共進会特別賞受賞者

賞名	作物	氏名
七戸町長賞	にんにく	中村進
青森県知事賞	玄米	木村重成
十和田おいらせ・ゆうき青森農業協同組合組合長賞	トマト	竹内久子
七戸町議会議長賞	やまのいも	小又博美人
全国農業協同組合連合会青森県本部長賞	ごぼう	森野明人
青森県農業協同組合中央会長賞	だいこん	川村道子
青森県たばこ耕作組合長賞	にんじん	森野博幸
七戸町たばこ耕作振興会長賞	葉たばこ	高松佳男子
七戸町農業委員会賞	葉たばこ	花松百合子
上北森林組合長賞	生食用菊	真鍋百子
南部地域農業共済組合長賞	りんご	中村進
	ながいも	新山ヒロ

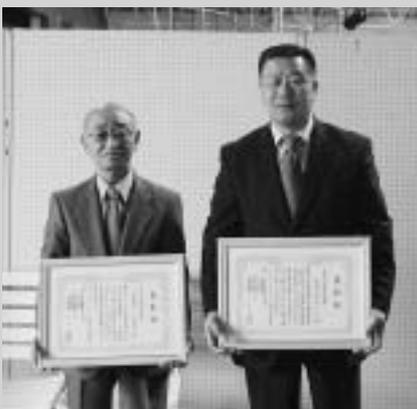


しちのへ 活性化大賞が決定!

「しちのへ活性化大賞」表彰式が10月30日、屋内スポーツセンターで行われ、今年度の大賞に、「南部縦貫レールバス愛好会」と「有限会社金子ファーム」の2団体を選ばれ、小又町長より賞状が手渡されました。

「南部縦貫レールバス愛好会」は、鉄道マニアによってレールバスの整備保存に努めるほか、体験乗車イベントを開催し、毎年3千人を超えるお客様が訪れ観光振興に貢献したと評価されました。

また、「有限会社金子ファーム」は、地域との共存を考えた「資源循環型大規模畜産」に取り組み成功を収めており、食に対しても「安心・安全にこだわった消費者からの信頼される畜産物の提供」で消費者、地域住民との関係を重視する経営姿勢が評価されました。なお、今年度は奨励賞の該当はありませんでした。



町営住宅入居者を募集します！

町では、次により町営住宅入居者の募集を行います。

☆募集住宅

①長下団地4-2号

(住 所) 七戸町字中野105番地3

・建設年度 平成14年度

・間 取 木造平建(二戸長屋)

1LDK(6・8)

・家 賃 約1万2千3百円

1万8千3百円

(所得により個人差あり)

①けやき団地8号

(住 所) 七戸町字中野81番地19

・建設年度 平成4年度

・間 取 木造平建(二戸長屋)

2LDK(6・8・10)

・家 賃 約1万6千3百円

2万4千3百円

(所得により個人差あり)

☆募集期間

12月6日(月)～17日(金)

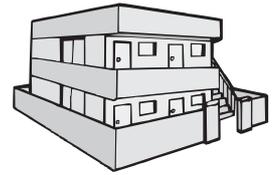
8時15分～17時(土・日・祝日除く)

☆入居予定日

平成23年1月下旬予定

☆敷 金

入居家賃3ヶ月分



☆選考方法

選考委員会にて審査のうえ決定します。(尚、公開抽選により決定する場合があります。)

☆入居者資格及び条件

1) 現に同居し、又は同居しようとする親族があること。

・ただし、以下のいずれかに該当する方は、単身での入居が可能です。

①平成22年4月1日の時点で54歳以上となっている方

②身体障害者手帳の交付を受けている、1級から4級の障害者の方

③精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている、1級から3級の障害者の方

④③に規定する精神障害の程度に相当する知的障害者の方

⑤戦傷病者手帳の交付を受けている、恩給法別表第1号表の3の第1款症以上の障害者の方

⑥原子爆弾被爆者のうち厚生労働大臣の認定を受けている方

⑦生活保護受給者の方

⑧海外からの引揚者で本邦に引き揚げた日から起算して5年を経過していない方

⑨配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(以下「DV法」)に規定する被害者で次のイ又はロのいずれかに該当する方

イ DV法の規定による一時保護又は保護が終了した日から起算して5年を経過していない方

ロ DV法の規定により裁判所がした命令の申し立てを行った者で当該命令がその効力を生じた日から起算して5年を経過していない方

2) 規定された所得(概ね月15.8万円)以下であること。参考:平成22年度所得課税証明書(入居者18歳以上全員分加算)

3) 現に住宅に困窮していることが明らかであること。

・原則として、持ち家のある方は申し込むことができません。

4) 住民税等公的支払を滞納していないこと。

5) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律に規定する暴力団員でないこと

6) 七戸町在住の連帯保証人が2人あること。

☆入居申込方法
町営住宅入居申込書に必要とされる書類を添えて申込みをしてください。

☆必要書類
1) 印鑑

ない方

⑨ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(以下「DV法」)に規定する被害者で次のイ又はロのいずれかに該当する方

イ DV法の規定による一時保護又は保護が終了した日から起算して5年を経過していない方

ロ DV法の規定により裁判所がした命令の申し立てを行った者で当該命令がその効力を生じた日から起算して5年を経過していない方

2) 規定された所得(概ね月15.8万円)以下であること。参考:平成22年度所得課税証明書(入居者18歳以上全員分加算)

3) 現に住宅に困窮していることが明らかであること。

・原則として、持ち家のある方は申し込むことができません。

4) 住民税等公的支払を滞納していないこと。

5) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律に規定する暴力団員でないこと

6) 七戸町在住の連帯保証人が2人あること。

☆入居申込方法
町営住宅入居申込書に必要とされる書類を添えて申込みをしてください。

☆必要書類
1) 印鑑

商工観光課が
観光交流センターに
移動しました



○所在地
〒039-2501
七戸町字荒熊内67-49 (七戸町観光交流センター内)
☎51-6100 FAX 51-6101

※出稼ぎ業務に関することは、本庁舎は町民課で、七戸庁舎は庶務課で承ります。

2) 世帯全員分の住民票(謄本)
・支所庶務課にて申請して下さい。
3) 平成22年度所得・課税証明書・収入証明書
・支所庶務課にて申請して下さい。
・所得が無くても18歳以上の方(主婦・無職等)は必要です。
☆申込み・問合せ先
支所 建設課 ☎6216244

年金の請求をお忘れではありませんか？

お心当たりのある方は、お早めにご相談ください。

1 年金の加入期間が25年未満の方へ

○年金の加入期間が25年未満でも、カラ期間とあわせて25年以上あれば年金が受け取れます。

*カラ期間の例：サラリーマンの配偶者であった期間のうち、昭和61年3月までの間で国民年金に任意加入していなかった期間など

○生まれた年などにより、25年未満でも年金を受け取れる場合があります。

*誕生日が昭和27年4月1日以前生まれで厚生年金の加入期間が20年以上の場合など

2 年金の受け取り開始を66歳以降に繰り下げている方へ

○年金の受け取りを始めるには、年金の請求が必要です。

3 厚生年金の加入期間のある65歳以上の方へ

○老齢厚生年金と老齢基礎年金の2種類の年金が受け取れます。片方の年金だけを受け取っている方は、受け取っていない年金についても、請求を行ってください。

○片方の年金の受け取り開始を繰り下げている方は、70歳になるまでに請求を行ってください。

4 厚生年金の加入期間のある方で65歳になってから年金を受け取ろうと思っている方へ

○厚生年金の加入期間が1年以上あるなどの要件を満たす方に対して支払われる「特別支給の老齢厚生年金」については、65歳になる前に請求しても年金額が減らされることはありません。

5 60歳以上で、会社にお勤めの方へ

○現在会社にお勤めの方も、年金を受け取る資格を満たしている場合は、請求の手続きを行ってください。

○給与の額などに応じて年金の支払額の調整が行われる場合がありますが、全額停止の場合を除き、年金を受け取ることができます。

◎ご相談は 青森年金事務所 ☎017-734-7498 ねんきんダイヤル ☎0570-05-1165

12月の移動年金相談日 12月22日(水) 野辺地町中央公民館 午前10時から午後3時

完全予約制になっていますので、忘れず予約をして下さい。

○問合せ先 青森年金事務所 ☎017-734-7498

十和田税務署からのお知らせ

～相続又は贈与等に係る生命保険契約や損害保険契約等に基づく年金の税務上の取扱いの変更について～

この度、遺族の方が年金として受給する生命保険金のうち、相続税の課税対象となった部分については、所得税の課税対象にならないとする最高裁判所の判決がありました。そこで、このような年金に係る税務上の取扱いを改めることとしましたので、お知らせします。これにより、平成17年分から平成21年分までの各年分について所得税が納めすぎとなっている方につきましては、その納めすぎとなっている所得税が還付となります。

お手数をお掛けしますが、必要なお手続き（更正の請求又は確定申告など）をしていただきますようお願いいたします。

この取扱いの変更の対象となる方や所得税の還付のお手続きについては、国税庁ホームページ【www.nta.go.jp】をご覧ください。

※平成17年分について、早い方は平成22年12月末が還付できる期限となりますので、お早目のお手続きをお願いします。

※受け取られた年金の受給権が相続税や贈与税の課税対象となる場合は、実際に相続税や贈与税の納税額が生じなかった方も対象となります。

○問合せ先 十和田税務署 ☎23-3151（代表） 税務課 ☎68-2113（直通）

奨学事業のお知らせ

■受付期間：平成22年12月6日(月)～平成23年3月11日(金)

町では、大学や短大等への進学を支援し、人材育成を図ることを目的として奨学事業を行っています。事業内容は、七戸町指定金融機関等からの借入れに対する利子補給事業が主となりますが、金融機関等からの借入れが困難な場合は、奨学資金をお貸しすることもできますのでご相談ください。事業の内容等は次のとおりです。

1. 奨学資金借入れ利子補給

- (1) 内 容 金融機関等からの教育資金の借入れに対する利子の一部を補てんするものです。卒業までの借入金総額50万円以上200万円までを限度として、年3%に相当する利息分を給付します。詳細についてはお問い合わせください。
- (2) 必要な書類
- ① 申請書（学務課にあります）
 - ② 合格通知書または在学証明書
 - ③ 所得証明書（世帯全員分）
 - ④ 住民票
 - ⑤ 金融機関が発行する借入証明書
 - ⑥ 成績証明書（最終卒業学校発行のもの）

2. 奨学資金の貸し付け

- (1) 内 容 金融機関等からの借入れが困難な方に、奨学資金を貸し付けします。詳細についてはお問い合わせください。
- (2) 必要な書類
- ① 申請書（学務課にあります）
 - ② 合格通知書または在学証明書
 - ③ 所得証明書（世帯全員分）
 - ④ 住民票
 - ⑤ 成績証明書（最終卒業学校発行のもの）

○問合せ先 学務課 ☎62-9701

就学指定校の変更を希望される保護者の方へ

町立の小・中学校については、教育委員会で通学区域（学区）に基づき、就学校を指定しています。

しかし、特別な事情があり、指定された学校への就学が困難な場合は、就学校の変更が認められることがありますので、変更を希望される保護者の方は、教育委員会へ申立てください。変更が認められる主な要件は、次のとおりです。

- ① 学期・学年途中で転居または転居予定がある場合
- ② 指定校に入級する特別支援学級がない場合
- ③ 心身の故障や疾患のため指定校への通学が困難な場合
- ④ いじめ、不登校など学校生活の状況により指定校での就学が困難な場合
- ⑤ 指定校に希望する部活動がない場合
- ⑥ 共働き、ひとり親などにより、下校後の保護に欠ける状態であり、希望校の近くに保護先が確保されている場合
- ⑦ 兄弟姉妹と同一の学校での就学を希望する場合

内容によっては、別に定める書類を提出していただくことがありますので、詳細については学務課へお問い合わせください。

○問合せ先 学務課 ☎62-9701

保健だより

◎妊婦健康診査における
HTLV-1抗体検査の
実施について

町が医療機関に委託して実施する妊婦健康診査について、このたび、新たにHTLV-1抗体検査（ヒトT細胞白血病ウイルス1型抗体検査）を追加で実施することになりました。この検査は、出生前の妊婦健康診査において実施できません。

対象となる妊婦には、受診票を母子健康手帳交付時に配布または個別送付しておりますので、かかりつけの産婦人科医に相談してください。

なお、この通知で検査を受けた場合であっても、医療機関により、一部自己負担金が発生する場合がありますのでご了承ください。

〔公費により検査ができる日〕
平成22年10月6日以降の日

妊婦健康診査時
なお、10月6日以降に、既にこの検査を自費で実施済みの場合は、ご連絡ください。

◎問合せ先
健康福祉課 ☎68-4631

◎未来のパパママ体験

七戸中学校3年生の
赤ちゃんふれあい体験学習

七戸中学校3年生が、城北・城南・明照の各子育て支援センターにおいて、「赤ちゃんふれあい体験学習」をおこないました。

七戸中学校では、毎年「生を見つめる学習」として、生命誕生から命の育みについての講話、妊婦体験、赤ちゃん人形を使つての抱っこ体験、離乳食の試食などの学習を行なっています。その学習の中の一つに今回のふれあい体験学習も含まれ、事前に学んだ事を活かしながら、実際の赤ちゃんふれあいました。



ふれあいの中で、「自分も親に大切に育てられたのがよくかった」「育てるのは大変だけど、笑ってくれるとすぐくうれしい」などの感想が聞かれました。今回の体験から学んだことを将来に活かして欲しいと思います。

◎ダイエツトサポート教室
開催

生活習慣病予防を目的に、「ダイエツトサポート教室」を開催します。お腹周りが気になる方、ダイエツトに取り組んでも長続きしない方、将来のために無理なく生活改善したい方などにお勧めです。みなさまの参加をお待ちしています。（※興味のある教室だけの参加も歓迎します）

【第2回】

日時：1月21日（金）
午後6時30分～8時30分

場所：天間林保健センター
内容：「おいしく食べて、スリムになろう！」
（バイキング）

講師 柴崎裕子先生
（元県学校栄養職員・管理栄養士）

申込締切：1月7日（金）

【第3回】

日時：3月15日（火）
午後6時30分～8時00分

場所：中央公民館
内容：「これならできる！
らくらく脂肪燃焼運動」

講師 加藤智子先生
（十和田フィットネス
スポーツクラブ・
健康運動指導士）

申込締切：3月4日（金）

○申込方法

氏名・年齢・住所・電話番号を健康福祉課までご連絡下さい。

*町民なら誰でも参加可能で、各回、無料です。

○問合せ先

健康福祉課 ☎68-4631

◎ぼく・わたし
むし歯のないよ

平成22年10月12日、3歳児健康診査において、むし歯のなかったお子さんを紹介します。
（ ）内は町内名



くれや
向井 紅弥くん
(榎林3)
お気に入りのかわいいアランで、毎日楽しくハミガキをしています。楽しくみがいてこれからもむし歯を予防しよう！



りん
工藤 凜くん
(石沢)
毎日、歯みがき頑張りました。チェックカープで自分で磨いています。これからも頑張ります。



しんえつ
椎葉 紳越くん
(城内)
毎日の仕上げ磨き、頑張っています。パパ、フッ素入り歯磨き粉ありがとうございます！！



は
山田 晏空ちゃん
(榎林3)
毎晩、歯をみがいています。他に、なるべく甘い物を食べさせないようにしています。

上十三保健所健康相談等

*利用される方は、受付時間を厳守してください。また、なるべく事前に予約をしてご利用してください。

〈場所〉上十三保健所（問合せ）☎23-4261

月日	種別	受付時間	対象等
12. 1(水)	HIV(エイズ)に関する相談	13:00~14:00	一般県民
12. 21(火)	女性健康相談	10:00~10:30	思春期から更年期に至る女性
12. 15(水)	精神保健福祉相談	13:00~14:00	精神・神経・飲酒等の相談
12. 28(火)	骨髄バンク登録相談	9:00~10:00	骨髄バンク登録希望者
12. 15(水)	B型及びC型肝炎検査(有料)	11:00~11:30	一般県民

◎90歳を過ぎても
元気に完歩!

10月11日に開催された、七里ウオーキングに参加し、最高齢ながらも見事に完歩しました。中岫さんは、毎日上北駅まで往復歩いたり、家事などもやっています。みなさんも「元気に長生き」の参考にしましょう。

中岫 正登さん(中岫)
「みんなについて行くのがや
つとでしたが、天気も良く気持
ちが良かったです。」



献血のお知らせ

献血は、健康であればもっとも身近にできるボランティアです。より多くの方のご協力をお願いします。

【期日】12月4日(土)

【場所】ジャスコ七戸店

【時間】①10時~12時
②13時~16時30分

【期日】12月15日(水)

【場所】ゆうき青森農協天間林支所

【時間】①10時~12時
②13時~16時30分



*日赤奉仕団天間林分団から温かいそばの提供があります。(12月15日(水)のみ。10時から50食限定)

天然温泉かけ流しの湯
大浴場・サウナ・家族風呂 完備



営業時間 AM6:00~PM10:30

七戸町道の上63-3 電話 0176(69)1124

天然芝の上で心地よい汗
保育園児合同サッカー教室



七戸サッカー協会（寺澤太郎会長）は10月23日、七戸町総合運動公園で、町内の保育園児を対象とした合同サッカー教室を開催しました。

同教室は就学前の園児にボール遊びを通して心身共に健やかに育ってほしいと、協会のメンバーが各保育園に赴き、毎月開催しているもので、今年には城南、城北、明照の3保育園の年長組園児45人が参加しました。

教室では4本のコーンをジグザグにドリブルする練習をした後、各園対抗のミニゲームなどを実施。芝生の上を駆け回り、一生懸命ボールを追いかけていました。

園児たちからは、「またやりたい」「楽しかった」と声が上がると、思い思いに楽しんでいました。

町民スポーツ交流会
『ペタンク競技』開催



優勝した「チーム喜代一」チーム

町民スポーツ交流会（ペタンク競技）が11月7日、七戸町屋内スポーツセンターで開催され、42チーム126人が参加しました。

開会式では、チーム亨哉（道ノ上分館）の佐藤亨哉君（天間館中2年）が「正々堂々プレーします」と力強く選手宣誓を行いました。

競技は小学生・中学生から高齢者（男女問わず）まで1チーム3人が予選8ブロックに分かれてリーグ戦を行い、各ブロックの上位2チーム（計16チーム）が決勝トーナメントへ進出。試合が進むにつれ、熱のこもったプレーが展開され、「ペタンク競技」が広い年齢層に親しまれた交流会となりました。

成績は左記のとおりです

優勝	チーム喜代一	第4位	中野分館G
準優勝	チームキミ	第5位	榎林D
第3位	チーム雄紀	第6位	チームミネ

イメージキャラクターにんに君が里親物語に！
「グリーンツーリズム商品コンテスト2010」優秀賞を受賞



オーライ！ニッポン会議主催「グリーンツーリズム商品コンテスト2010」の優秀賞が10月下旬に発表され、七戸町かだれ田舎体験協議会（中野正章会長）がエントリーした「七戸にんにく里親物語」が、全国83商品の中から優秀賞に選ばれました。

「七戸にんにく里親物語」は、にんにくオーナー制度と名所奥入瀬渓流での散策を組み合わせた1泊2日の体験観光型旅行商品です。冬のにんにく畑で、けなげに寒さに耐えるにんにく君との出会い。春にはにんにく君から写真付きのお便りが届き、夏の収穫期に再会。収穫した後はにんにくリースにして我が家に連れて帰ります。にんにくを擬人化して農家さんが里親となってオーナーさんの代わりに育ててあげるまでのストーリー性をコンセプトにした商品となっています。この企画を実施するのはかだれ田舎体験協議会のにんにく農家と農家民宿受入農家で、来年2月には、この商品のモニターツアーを開催することになりました。

冬の七戸町へどんなお客様がお見えになるか楽しみです。もし見かけましたら温かい心でお迎え下さい。

オーライ！ニッポン会議
ホームページ
<http://www.ohrai.jp/>



○問合せ先
七戸町かだれ田舎体験協議会
事務局 農林課 068-12116



★新着図書を紹介★

【中央図書館】

No.	書名	著者名
1	もしもし下北沢	よしもとばなな
2	親鸞と道元	五木寛之 立松和平
3	天空の陣風 (はやて)	宮本昌孝
4	NHK、鉄の沈黙はだれのために —番組改変事件10年目の告白—	永田浩三
5	にんにくでガン予防!	有賀豊彦 内千波
6	もっと使える乾物の本 —おいしさ・ 手軽さ新発見 食べ方・使い方170—	奥蘭壽子
7	はじめての植物画 かわいい花と実を描く	やまだ えりこ
8	一字一話 日本語をめぐる45の話	船曳建夫
9	ココロのヒカリ	元永定正(絵) 谷川俊太郎(文)
10	ぶた にく	大西暢夫 (写真・文)
等 一般書 51冊 児童書 5冊 (10/11~11/10 登録 (購入・寄贈分))		

【中央公民館図書室】

No.	書名	著者名
1	草木染め大全 —染料植物から 染色技法まですべてがわかる—	箕輪直子
2	いのちの中にある地球	デヴィッド・スズキ
3	デジタル教科書革命	中村伊知哉
4	<図説>生物多様性と現代社会 —「生命の環」30の物語—	小島望
5	女ざらい「ニッポンのミソジニー」	上野千鶴子
6	笠原将弘和食屋のおかず汁101	笠原将弘
7	怪僧タマネギ坊 (野菜忍列伝 其の4)	川端誠
8	しんた、ちようたのすつとびかご! —なぞのおおにもつ—	飯野和好
9	パパとニルスおやすみなさいの そのまゑに (絵本)	マークス・フィスター
10	うさぎがそらをなめました (おはなしえほんシリーズ24)	黒井健
等 一般書 16冊 児童書 20冊 (9/29~10/28 登録 (購入分))		

★今月の休館日…16日(木)・23日(木・祝)、29日~1月3日(年末年始)(※第4木曜日が祝日の場合は、第3木曜日が館内整理で休館になります。)★図書館・図書室は、毎月第4木曜日、祝日、年末年始を除き、土曜日・日曜日も開館しています。



《俳句》

児に沓を履かせて放つ草紅葉 福士岬人
 満月の村の奥より稽古笛 小林凡石
 異国めく原燃の村ななかまど 田中愛
 後手に歩む農夫や野分晴れ 川村亜輝子
 お湯割りが良くなる夜や暮れの秋 高田明
 秋桜風に聞こえて子らの歌 成田駿三
《川柳》「両手」
 登山道両手で掬う岩清水 陽湖
 不景気に両手合わせる神頼み 愛子
 秋祭り両手に枹の音高く 征治
 ママが好き両手広げてしがみつく 真平

《短歌》

草紅葉山も野原も色付きて 瀬川翠蛙
 華やぐ今日のふるさとの村
 この孤独ひとに言うべきことにあらず 橋本都志子
 小説読みて宵やみせまる
 猛暑にて北限に咲く百日紅 宮沢崇子
 秋陽の中にながらえており
 声をあげ尾を振る犬に吾もまた 内山涼子
 応えてやりたい午後の散歩に
 「赤い糸で結ばれたのよ」ほろ酔ひて 原信子
 夫にしてみろウィンク一つ
 あなたにも祈りはありやと問ふごとく 高田洋子
 われを見つめる合掌土偶は
 大き粒選んで皮をむいて炊き 崎アイ子
 今宵は夫と初くりご飯
 母さんと呼ばねば聞きとめ幼子が 佐藤悠一
 ばあばでしようといぶかしげに云ふ



七戸町電気バス出発式

「SEB-7」(SHICHINOHE ELECTRIC BUS)が、七戸町を走ります。

電気バスシャトル便が12月4、5日の2日間、七戸十和田駅と役場本庁舎、柏葉館の間で運行いたします。

バスのデザインは、八戸工業大学感性デザイン学科の鳴海可奈絵さんが行いました。

運行に先立ち、出発式を七戸十和田駅で4日午前9時から行い、9時30分に1番バスとしてスタートします。

この機会に、人にも、環境にも優しい電気バスに乗車してみてください。

○問合せ先 企画財政課 ☎68-2940

電気バス運行時間

②	③	4日		①	④
12:18	15:18	●	本庁舎	↑	11:42
12:30	15:30	↓	七戸十和田駅	↑	11:30
12:42	15:42	↓	柏葉館	●	16:18



①	③	⑤	5日			②	④	⑥
10:48	11:48	14:48	●	本庁舎	↑	11:42	14:42	15:42
11:00	12:00	15:00	↓	七戸十和田駅	↑	11:30	14:30	15:30
11:12	12:12	15:12	↓	柏葉館	●	11:18	14:18	15:18

太陽光発電システムを知っていますか？

七戸町では、太陽光などの再生可能エネルギーの普及拡大のため、道の駅しちのへと七戸町役場本庁舎に太陽光発電システムの導入を行いました。

太陽光発電システムは、ほぼ無限に降り注ぐ太陽光で発電するというクリーンなエネルギーであり、資源に乏しいわが国にとって、とても重要であると言われています。

町内2カ所に設置された太陽光発電システムは、発電状況等を示すモニターが各施設内に設置されており、開館時間であればいつでも見ることができます。「道の駅しちのへ」と「七戸町役場本庁舎」へお越しの際は、是非ご覧ください。

また、住宅用の太陽光発電システム設置をお考えの方は、設置に対しての補助金を交付していますので、お気軽に企画財政課へお問い合わせください。

《道の駅しちのへ》

- ・設置年度：平成20年度
- ・太陽電池種類：化合物太陽電池（CIS）
- ・太陽電池容量：20kW
- ・太陽電池メーカー：昭和シェルソーラー
- ・道の駅電気量の約5%を発電しています。



《七戸町役場本庁舎》

- ・設置年度：平成21年度
- ・太陽電池種類：多結晶シリコン太陽電池
- ・太陽電池容量：10kW
- ・太陽電池メーカー：三菱電機
- ・庁舎電気量の約10%を発電しています。



七戸町役場では「ウォームビズ」に取り組んでいます

※ウォームビズ実施期間：平成22年12月1日～平成23年3月31日

ゴミの分別・出し方はきちんとルールを守って！

あなたのご家庭からのゴミの出し方はだいじょうぶでしょうか？

ゴミの分別や出し方がきちんと守られていないと、お互いに不愉快な思いをするだけでなく収集の時間が遅くなったり、ゴミ処理場が壊れたり悪いことばかりです。

次のようなゴミは回収時にシールの貼付けをして収集しませんので「家庭ゴミの分け方、出し方」に従ってきちんと出してください。

- 指定ゴミ袋を使用していないゴミ！
- ゴミ袋に「町内名」・「氏名」を記入しないで出されているゴミ！
- 正しく種類が分別されていない混合ゴミ！
- ビン・缶・ペットボトルの中身が残っていたり、汚れがひどいまま出されたゴミ！

その他、次のルールは必ず守りましょう。

- ・ゴミは指定収集日当日、朝8時までに出してください。（前日にゴミを出すとかラス等によるゴミの散乱や周囲への悪臭の原因になりますので絶対にしないでください。）
- ・家庭でのゴミの焼却処分は法律により禁止されています。
- ・他町内からのゴミの持込みは禁止しています。

ゴミ集積所の維持管理は各地域において行われていますのでお互いに不快な思いをしないためにもきちんとルールを守り、快適で清潔な環境づくりにご協力をお願いします。

こんなゴミの出し方はやめましょう！



収集日以外のゴミが出されている



出し方が不適切なゴミにはシールを貼り収集しません



ゴミの出し方が悪いとステーションにゴミがたまりお互いに不便な思いをします

○問合せ先 社会生活課 ☎68-2114 中部上北清掃センター ☎0175-63-2336

【ご葬儀一式】
 花輪・生花・盛籠・引出物
 《真心でご奉仕》
（株）七戸タクシー葬儀部
 七戸町字町7-3 ☎62-2141
 （24時間受付）

IBUKI メディカルフィットネス
いぶき
 広々としたスタジオでの運動及びレッスン・各種マシン完備！メタボリック対策として個別メニューを作成し、生活習慣病の改善を医師・運動指導士・栄養士がバックアップいたします。介護予防教室もあります。見学大歓迎！
 営業時間（平日・土）AM9:00～M9:00（日曜）M9:00～PM5:00
 七戸町道の上63-3 電話 0176(69)1061

ミネラル類、食物繊維、カルシウム豊富
 育ち盛りのお子様に！
十穀米
（株）米万商店
 ☎039-2512 青森県上北郡七戸町字芥田34-1
 0120-325987 FAX 0176-62-5122
 米万 検索

写真で挙げる結婚式
フォトウェディング
 衣装代含
 平日価格 **¥39,800~**
 写真のオクヤマ 十和田店 TEL 21-1515
 予約制/月曜定休/9:30~19:00営業
<http://www.okuyama-photo.co.jp>
 写真のオクヤマ 検索、メールはこちら

Makado Wedding
 愛する人へのピュアな思いとご両親や出席者への感謝の気持ちを大切にオリジナルウェディングそれが Makado Wedding
 20名様からのスタイリッシュでアットホームなレストランウェディングや清々しい青空の下でのガーデン挙式。お二人の思い出の1ページをお手伝いします。
まかど温泉富士屋ホテル
 ☎039-3175 青森県上北郡野辺地町湯沢9
 TEL 0175-64-3131 <http://makadoonsen.jp/>

債務整理サギにご用心!!
 っくして
 大手消費者金融へ5年以上返済を続けている。金利が25%前後だった。
 上記2項目に該当した方は、遣い金を取ってくるかもしれませんが貸金業者が倒産する前に、妻は急げますお電話ください。
アカシアの森法律事務所
 青森県弁護士会所属 弁護士 今井 正
0176 51-4317
 十和田市西二番町8-4（現代美術館駐車場隣り）

**平成23年
新年祝賀会を開催します**

- 日時 平成23年1月4日(火)
午後4時から
- 場所 柏葉館
- 会費 3,000円(当日受付)
- バス運行 天間林地区の参加者を対象に送迎バスを運行します。
【送り時間】
中央公民館前 午後3時15分出発
- 参加申込み
・どなたでも参加することができます。なお、各種団体等の役職の方には個別に通知しています。
・準備の都合がありますので、参加したい方は12月17日(金)までに総務課へご連絡ください。
- 問合せ先 総務課 ☎68-2111

**平成23年
七戸町成人式のお知らせ**

- 日時 平成23年1月9日(日)
受付 正午～
記念撮影 午後1時～
式典 午後1時30分～
- 場所 七戸中央公民館
- 対象者 平成2年4月2日～平成3年4月1日生まれの町内中学校(七戸中・天間館中・榎林中)卒業生並びに七戸町在住の方。
※対象者の方には往復ハガキでご案内しましたが、まだ届いていない場合は下記へご連絡ください。
- 問合せ先
七戸中央公民館 ☎68-2920
七戸南公民館 ☎62-2118

**公立ぎんなん寮
歳末セール開催のお知らせ**

- 日時 12月1日(水)～
12月28日(火)
午前9時30分～午後5時30分
- 場所 公立ぎんなん寮
(直売所ハンズ及び大温室)
- 販売品 シクラメン、ポインセチア、洋ラン、各種鉢花、正月用きり花、ハム、ソーセージほか
- ※期間中、園芸商品20%割引(友の会会員30%割引)
- 問合せ先
公立ぎんなん寮 ☎56-5121
東北町大字大浦字南平10-1

**『クリスマスおはなし会』
開催のお知らせ**

- 七戸中央公民館では、『クリスマスおはなし会』を開催します。
お話の世界を子どもだけで楽しむなんてもったいない!
おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんを誘って参加しよう!サンタクロースのおじさんが遊びに来るかもしれませんよ。
- 日時 12月18日(土)
午前10時～11時
 - 場所 七戸中央公民館 ホール
 - 問合せ先
七戸中央公民館 ☎68-2920

行政・人権相談所開設のご案内

- 家族間や近隣関係に関する困りごとや悩みごと、行政に関する事などでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。
- 日時・場所 12月8日(水)
午前9時から12時まで
七戸町役場 2階第1・2会議室
七戸庁舎 3階大会議室
 - 日時・場所 1月5日(水)
午前9時から12時まで
七戸町役場 2階第3会議室
七戸庁舎 3階第2会議室
 - 相談料 無料《秘密厳守》
 - 相談員 行政相談委員・人権擁護委員
 - 問合せ先 町民課 ☎68-2112
庶務課 ☎62-2111

※七戸町にお住まいの方も、下記の日程で、相談を受けることができます。

- 野辺地町
○日時・場所
12月7日(火) 午前10時～午後3時
野辺地町中央公民館
- 問合せ先 野辺地町役場総務課
☎0175-64-2111
- 東北町
○日時・場所
12月6日(月) 午前10時～12時
東北町役場・東北町コミュニティセンター
- 日時・場所
12月20日(月) 午前10時～12時
東北町役場
- 問合せ先
東北町役場東北分庁舎福祉課
☎0175-63-2111
- 六ヶ所村
○日時・場所
12月6日(月)午前10時～午後3時
六ヶ所村中央公民館
- 問合せ先 六ヶ所村役場総務課
☎0175-72-2111

七戸町
しちのへで探す!
土地 建物 アパート 貸家
宅地や農地の価格調べ&空家の管理
リアルエステート三輪
場所 薬王堂七戸店様すぐソバ
電話 62-6113

セピアの灯がともる
ランプの宿
池の端温泉郷
薬師本館:お一人様 3,800円
丸太小屋茶室:2名様 5,000円
上北郡東北町 ☎0176-56-3680

暮らす人の数だけ、暮らしのカタチがある
だから、注文住宅で自分スタイルという贅沢と暮らそう。
木の優しさが宿る心地良さと住う家
Cumu
建築工房 建築工房クーム有限公司
〒039-2512 青森県上北郡七戸町字沢田34-5
TEL.0176-60-8166 FAX.0176-62-6073
URL><http://cumu.jp> BLOG><http://ameblo.jp/cumu/>

Earth Our Home
地球を大切に
株式会社
十和田ビルサービス
〒034-0081
青森県十和田市西十三番町37-9
TEL(0176)23-4982
FAX(0176)22-7171

各種印刷・DTP
ハウブンシャ
朋文社
〒039-2513 七戸町字東槻木25
☎62-2909 FAX 62-4434

おかげで今まで
当店も明るく変身できました。
気分一新です。
お気軽にご相談くださいませ!
インテリアユニオン石原
上北郡七戸町字七戸297-3 TEL 0176-62-6511

製造事業所の皆さまへ 統計調査にご協力ください

平成22年工業統計調査を12月31日現在で行います。
 調査の実施に当たっては、本年12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。
 なお、調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確なご記入をお願いします。

<http://www.meti.go.jp/statistics/>

経済産業省／青森県／七戸町

市町村合併に伴う車検証の住所変更手続きについて

- ①市町村合併に伴う住所変更が反映されていない車検証につきましては、新住所への記載事項の変更を行わなくてもよい措置（根拠法：道路運送車両法第67条第2項）が取られておりますので、特に手続きをされなくても問題ありません。
 - ②合併後の住所への変更を希望される場合には、軽自動車検査協会の事務所窓口において、記入申請用紙に記入していただき、車検証を添えて提出していただくなどの方法により、新住所の車検証を交付させていただきます。
 - ③市町村合併後に継続車検を行う場合につきましては、車検証に加えて継続検査申請書に"の専用シート（OCRシート）や依頼書を添えてお申し出いただくか、継続検査申請書の住所欄に、「赤字で新住所を記載する」などの方法でも、新住所の車検証の交付をさせていただきます。
 - ④お申し出につきましては、ナンバーを管轄する軽自動車検査協会の事務所または支所（分室）になります。
 - ⑤混雑時におきましては、交付までお時間をいただく場合がございますので、あらかじめご理解いただきたくお願い申し上げます。
 - ⑥市町村合併とは関係のない手続き（住居表示の変更や土地区画整理による変更）は、通常の手続きとなります。
- 問合せ先 軽自動車検査協会青森事務所八戸支所 ☎0178-21-2135

「平成23年度航空自衛隊三沢基地モニター募集」について

航空自衛隊三沢基地では、基地周辺住民の方々に、自衛隊及び防衛問題に関心がある方を対象に基地見学などを通じ、ご意見及びご要望をお聞きするために、三沢基地モニターを募集します。

- 募集区域 三沢市、十和田市及び上北郡
- 募集年齢 二十歳代から五十歳代の男女
- 募集定員 若干名（応募者多数の場合は、選考のうえご連絡させていただきます。）
- 委嘱期間 平成23年4月から平成24年3月まで
- 活動予定内容
 - ①基地内及び職場見学等
 - ②航空機体験搭乗等
 - ③アンケート調査及びモニター会議
- 申込み ハガキに、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記のうえ、下記まで郵送して下さい。
 〒033-8604 三沢市後久保125-7
 航空自衛隊三沢基地渉外室広報班 宛
- 締め切り 12月17日（金）必着
- 問合せ先 航空自衛隊三沢基地渉外室広報班
 ☎53-4121・内線3313



新登場

青森ならではの一品です。贈り物にもオススメです。

黒にんにく入林檍果汁ゼリー

くろ こはく
黒琥

1個240円 4個入1,050円

和菓子・洋菓子・内祝い・供物

菓奉
 匠撰

もみやきん

〒039-2525 青森県上北郡七戸町字七戸329-1
 TEL 0176-62-5100(代)
 フリーダイヤル0120-31-3263

お客様の笑顔がみたいから今日も走ります。

歩みケアタクシー

TEL **62-5108**
 携帯 090-2993-1555

営業時間 8:00~18:00(日曜定休)
要予約制 当日空きがあればお迎えにまいります。
 初乗り1.5kmまで620円・時間制30分毎2,750円
<http://www.ayumicaretaxi.com/>

全世帯配布で 広報 **しん** 広告効果バツグン! **広告募集**

契約区分	広告回数と枠区分	広告掲載料
A契約	小枠×12回 プラス大枠2回	10万円 (12ヶ月/消費税別)
B契約	小枠×12回	6万円 (12ヶ月/消費税別)
C契約	随時契約 (スペース・掲載料・掲載期間)等を別途設定	

★広告制作料は5,000円(小枠)~10,000円(大枠)が目安です。詳細については右記までお問い合わせください。

期間 23年5月号~24年4月号
 ★原則1年契約★

★中途からの契約は掲載料は按分されます。

東奥アドシステム

〒034-0082 十和田市西二番町7-2(東奥日報社十和田支局1階)

TEL (0176) 22-0888
 FAX (0176) 22-0919

アイクリエイティブ

〒034-0091 青森県十和田市西十一番町32-2
 TEL 0176 25 0076 FAX 0176 51 3776

【業務代行】

公立七戸病院からお知らせ

年末年始の診療日について

年末年始の休診日は、平成22年12月29日（水）～平成23年1月3日（月）です。

なお、小児科は通常火曜日は休診になりますが、12月28日（火）と1月4日（火）は午前中のみ診療いたします。

12月27日（月）	12月28日（火）	12月29日（水）	12月30日（木）	12月31日（金）
通常診療	通常診療	休診	休診	休診
1月1日（土）	1月2日（日）	1月3日（月）	1月4日（火）	1月5日（水）
休診	休診	休診	通常診療	通常診療

整形外科の受診について ・整形外科外来及びスポーツ外来は、完全予約制になっています。

前日までに電話で予約して受診してください。予約なしに直接外来に来ての受診はできません。

事故など怪我等で受診したい場合は、電話で問い合わせてください。

他の医療機関からの紹介状を持参しても、事前に予約していただくことになっています。

詳しくは、電話にてお問い合わせください。

小児科の受診について ・小児科は、毎週火曜日午前中は休診になっています。

毎週火曜日の午後も外来診察は休診で、通常3～4ヶ月・3歳児の健診を行っておりますが、健診がないときは、午後1時から午後3時まで診察いたします。

詳しくは電話にてお問い合わせください。

○問合せ先 公立七戸病院 ☎62-2105

間に合います！七五三撮影

5大特典つき！

撮影用衣装も幅広くご用意。ひと家族様2着までは無料でご利用いただけます。（一部は有料）

1. 12月と1月の撮影は10%割引
2. 写真画像1コマを携帯待ち受け画面プレゼント
3. 写真入りカレンダー（4切サイズ）1枚プレゼント
4. 写真ポストカード作成1,000円引券プレゼント
5. 千歳飴プレゼント

六切1ポーズ/通常価格 ¥11,500～

12月と1月は ¥10,350～



成人記念写真 早期撮影&ご予約も受付中！

成人式当日の撮影は時間に余裕もなく、式の後に写真を撮ると着崩れも目立ちます。ゆったりと時間がとれる前撮りなら表情もやわらかくきれいな着物姿が残せるのでおすすめです。

六切1ポーズ/通常価格 ¥11,500～

平日撮影 10% 割引

写真のオクヤマ 十和田店

十和田市西三番町14-31/予約制/月曜定休/9:30～19:00営業
七戸店■七戸町七戸220/予約制/土・日曜定休/8:30～19:00営業

ご予約&お問い合わせ TEL 0176 21-1515

<http://www.okuyama-photo.co.jp>

写真のオクヤマ 検索 メールはこちら→



平成22年10月31日現在

男	8,615人	(- 8)
女	9,266人	(- 11)
計	17,881人	(- 19)
世帯数	6,860世帯	(+ 5)
	()内は前月比	

★交通事故

件数	2件(56件)	<- 5>
傷者	3人(73人)	<- 4>
死者	0人(0人)	<± 0>
	()内は1月からの累計	
	< >内は平成21年同月末比	

★町内の火災

建物	1件(4件)
林野・その他	0件(2件)
	()内は1月からの累計

戸籍の窓口への掲載は、役場に届け出された時に、本人から確認できたものだけを掲載しております。

また、他町村に届け出し、「広報しちのへ」に掲載したい方は役場町民課町民係へご連絡ください。

☎ 68-2112 (内線214)

東北新幹線七戸十和田駅開業イベントのお知らせ

12月4日に開業する七戸十和田駅の開業記念イベントを下記のとおり実施します。

●12月3日(金) 午後4時～午後7時30分

・上北・下北地域の物産販売 ・よさこい演舞 ・ミニライブ

●12月4日(土) 午前7時30分～午後4時

・記念行事 ・新幹線トレインジャーショー

●12月5日(日) 午前10時～午後4時

※4日・5日の共通イベント

・上北・下北地域の物産販売 ・郷土芸能発表 ・ゆるキャラショー
・クイズ大会 など

○問合せ先 新幹線建設対策課 ☎62-2137

寄付をいただきました

七戸ライオンズクラブ(米内山隆会長)より、平成22年10月17日に柏葉館で行われたチャリティーダンスパーティーの収益金から、中央図書館の蔵書として、「キッチンでかんたん実験120(全6巻)」「大切ないのち、生まれたよ!(全5巻)」「中国名作新漫画『三国演義』(全10巻)」等10万円相当の図書が寄贈されました。小学校への巡回図書貸し出し等に活用させていただきます。ありがとうございました。

戸籍の窓口

10月16日～11月15日

◎お誕生おめでとうございます

子ども	母親	住所
田中 柊羽 <small>しゅう</small> くん	千 晴 <small>ちか</small> さん	底 田
荒町 希愛 <small>のあ</small> ちゃん	育 美 <small>ひこみ</small> さん	影津内
附田 恵菜 <small>えま</small> ちゃん	陽 子 <small>ひかり</small> さん	二ツ森
葛巻 瑛太 <small>えいた</small> くん	律 子 <small>りつ</small> さん	榎林 1
作田 大耀 <small>たいよう</small> くん	郁 子 <small>いづみ</small> さん	長 下
山本 想護 <small>そうご</small> くん	美 沙 <small>みさ</small> さん	天 王
酒井 幸翔 <small>ゆきと</small> くん	智 江 <small>ちえ</small> さん	下野崎
佐々木 乃愛 <small>のあ</small> ちゃん	綾 乃 <small>あやの</small> さん	七 戸
木下 理緒 <small>りお</small> ちゃん	那央子 <small>なづな</small> さん	森ノ上

◎ご結婚おめでとうございます

(山本 芳史 <small>よし</small> さん	埼玉 県
(山本 美沙 <small>みさ</small> さん	天 王

(蛸名 大生おおさん 曙
坂本 真依子まゆこさん おいらせ町

●お悔やみ申し上げます

小笠原 友彦 <small>ともひこ</small> さん	71歳	七 戸
鳥谷部 貞男 <small>さだお</small> さん	64歳	鳥谷部
中村 和男 <small>わづお</small> さん	70歳	道ノ上
衣川 シュン <small>しゅん</small> さん	88歳	石 沢
米田 勝三郎 <small>かつさぶろ</small> さん	91歳	宇道坂
白石 とわ <small>とわ</small> さん	82歳	白 石
浦田 正志 <small>まさし</small> さん	63歳	費ノ神
白石 鶴藏 <small>つるぞう</small> さん	87歳	白 石
赤沼 とき <small>とき</small> さん	85歳	夏 焼
見林 サン子 <small>さん</small> さん	91歳	貝ノ口
金見 石松 <small>いし</small> さん	85歳	見 町
沢尻 亮 <small>あきら</small> さん	77歳	蛇 坂
成田 サチ <small>さち</small> さん	68歳	放 森
小原 正榮 <small>まさ栄</small> さん	69歳	天神林
高田 ネネ <small>ねね</small> さん	86歳	榎林 3
小林 嘉壽雄 <small>かすお</small> さん	67歳	左 組
鳥谷部 ミドリ <small>みどり</small> さん	88歳	狐久保
中村 よしの <small>よし</small> さん	99歳	榎林 1

鷹山賞児童作品展10周年！

■ 1月23日(日)まで特別展を開催！ ■

「第10回鷹山賞児童作品展」「審査員長／濱田進 展」「鷹山賞10年のあゆみ展」 併催／「第10回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展」

本年第10回展の節目を迎えた絵画コンテスト「鷹山賞児童作品展」。審査会において選ばれた入賞26点、入選79点とともに、第1回展から鷹山賞児童作品展の審査員長を務める二科会評議員・濱田進先生による絵画展をはじめ（12月28日から展示替えしてご紹介）、歴代鷹山賞受賞作品を一堂に展覧します。併せて、地球環境をテーマに、世界各国の子どもたちによる作品展も開催！

大人が忘れかけている大切な何かを気づかせてくれる、未来を担う子どもたちによる絵画展×二科会会員・濱田進先生による初のコラボ展。是非ご鑑賞ください。ご来館を心からお待ちしております。

- 入館時間■ 午前10時～午後5時30分（閉館は午後6時）
- 休館日■ 定休日／毎週月曜日（12/6、13、20、27、1/3）
*年末年始も休まず開館
- 入館料■ 一般500円、高校・大学生300円、小・中学生100円
※20名様以上の団体、JAF会員、県民カレッジ
受講者は各2割引
※上記入館料で特別展・常設展、すべての展覧会をご鑑賞いただけます
- 問合せ先■ 鷹山宇一記念美術館 ☎ 62-5858



鷹山賞 中学生の部「とりの通り道」（ポスターカラー）
戸崎香苗さん（八戸市立三条中学校3学年）



町長賞

小学生の部「あつー大きいかぶとむし」（木版）
小笠原千夏さん（七戸町立城南小学校6学年）

■ 「遊蝶記」無料開館のご案内 ■

12月10日(金)は鷹山宇一先生誕辰記念日。これを記念して、当日はどなたさまも無料にてご入館いただけます。皆さまのご来館をお待ちしております。

CM大賞で「コピー賞」を受賞

青森朝日放送が主催する第10回ふるさと自慢わがまちCM大賞の審査会が11月20日、青森市で行われ、当町から出品された「平成の参勤交代」がコピー賞を受賞しました。



今回のCMは七戸町商工会青年部（菅岡哲郎部長）が東北新幹線七戸十和田駅開業実行委員会の支援を受け、出演・制作・編集などをすべて行った作品。七戸十和田駅から新幹線に乗って江戸へ参勤交代に向かうというストーリーとなっています。

菅岡部長は「はやぶさは七戸十和田駅には停車しませんが、今後停車するように、町を盛り上げていきたい」と話し、審査会の会場でも東北新幹線全線開業をPRしました。

この審査会の模様は、来年1月3日にテレビ放映された後（再放送有り）、当町をPRするCMが年間50回放送されることになっています。